



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん



## 第8回 千葉交響楽団協会 室内楽フェスティバル

■主催：千葉県、千葉交響楽団協会

■後援：佐倉市教育委員会

日時 2021年 10/30(土)  
14:00~15:20(開場13:30)

会場 佐倉市民音楽ホール

# ごあいさつ

千葉交響楽団協会 理事長 時田 雄

本日は「第8回千葉交響楽団協会室内楽フェスティバル」にご来場いただき誠にありがとうございます。  
本日はゲスト奏者としてプロ演奏家として活躍されながら、地元佐倉市での演奏活動を続けられている、ヴァイオリンの加藤綺乃さんとハープの森下恭江さんをお迎えし、当協会からは弦楽四重奏と弦楽合奏の演奏をお聴きいただきます。

また、今般のコロナ禍により舞台上での演奏発表が難しくなっているオーケストラ演奏につきましては地元で活動続けております佐倉フィルハーモニー管弦楽団の演奏をビデオ上映によりお楽しみいただく事と致しました。県内のアマチュアオーケストラ団体で結成しております当協会は音楽による地域文化の振興と生涯学習を目的とし県内各地で多数の演奏活動を行っており、今回もこの施設に相応しい行事とさせていただける事と思います。  
短い時間ではございますが最後までごゆっくりお楽しみいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが今回の開催にあたりましては千葉県をはじめ関係各位のご協力に感謝申しあげます。

## プログラム

やすなが  
あけみ  
安永 暁海  
ごあんない

● ブラーヴェン弦楽四重奏団(市川交響楽団) :

ラヴェル作曲／弦楽四重奏曲 第1,2楽章

● 佐倉フィルハーモニー管弦楽団 :

フンパーディング作曲／  
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲 ビデオ出演

モーツアルト作曲／  
弦楽セレナーデ「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K.525

● ゲスト演奏 :

ヴァイオリン 加藤綺乃 ハープ 森下恭江

エルガー作曲／ 「愛の挨拶」

サンサーンス作曲／ 「白鳥」

パガニーニ作曲／ 「ラ・カンパネーラ」他



# 出演団体

## ブラーヴェン弦楽四重奏団

(市川交響楽団)

(ヴァイオリン)立田祥子、大橋一郎 (ヴィオラ) 大橋かおる、(チェロ) 福原耕二

所属の市川交響楽団のほか、それぞれがオペラや他の編成での演奏活動をしています。

ブラーヴェン弦楽四重奏団は有名な大作曲家の名前を組み合わせて10年程前に結成され、今までモーツアルト、シューベルト、ベートーヴェンなどを演奏してきました。今回はフランスの作曲家ラヴェルの作品ですが、これからも難曲に挑戦したいと思っています。

## 佐倉フィルハーモニー管弦楽団

### 弦楽合奏メンバー

(ヴァイオリン) : 加藤綺乃、相川みどり、天本幸江、清水俊子、二宮伸雄、畠保子、宮内千絵、矢野晴子

(ヴィオラ) : 小野健、高橋獎

(チェロ) : 菅野修平、川田麗菜、松浦晴彦

(コントラバス) : 三輪泰之

オーケストラ演奏 (DVD出演) 佐倉フィルハーモニー管弦楽団

佐倉フィルハーモニー管弦楽団は佐倉市に1983年に発足したアマチュアオーケストラです。今回は会場の制約から、弦楽器パートの一部メンバーによる弦楽セレナーデ、および管弦楽はDVD、で出演します。地域文化の向上に寄与することを目的とし、佐倉市民音楽ホールを本拠地として演奏活動を行っており、年2回の定期演奏会のほか、地元での依頼演奏会や過去には「市民の第九」のオーケストラを担当しました。定期演奏会は、佐倉市教育委員会（佐倉市民音楽ホール）との共催および「佐倉フィル友の会」からの後援を得て開催しています。

団員構成は幅広く、佐倉市在住を中心とする学生からサラリーマン、主婦など、また、その経歴も、豊富なオーケストラ経験者のみならず、楽器を弾けるようになって初めて参加した方、10年ぶりに楽器を手に入団した方など様々です

## 千葉交響楽団協会

当協会は1976年（昭和51年）2月14日に創設した。『本会は社会奉仕の精神をもって千葉県民の音楽文化の高揚と普及啓発に努め、アマチュアオーケストラの育成をその演奏活動の円滑を図りつつ千葉県文化の発展に寄与することを目的とする。又、社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟と協力し日本全体の音楽文化の興隆に貢献する。』（規約第2条）の目的を達成すべき活動している。現在は所属23団体（約1500名）で情報交換等を行い各地域の活動に応用している。個々のオーケストラは団員数40名以上で管弦楽、交響曲を演奏している。協会所属団体のコンサートは50を越え年間に千葉県内の何処かで一週間に1回開催されていることになる。各々の地区では「我が街のオーケストラ」としてコンサートへの期待は大きい。

当フェスティバルはオーケストラの基本は弦楽四重奏等の室内楽として捉え、オーケストラの楽しさ体験との理解となればとの思いがある。特に若い方にこのフェスティバルを通じて自分達も演奏してみようと感じていただければ幸いである。過去のお客さまからの感想は室内楽への好感のあるアンケート結果であった。

市川交響楽団

習志野フィルハーモニー管弦楽団

ウインドミル・オーケストラ

千葉市管弦楽団

八千代交響楽団

市響ジュニアオーケストラ

柏交響楽団

我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団

松戸シティフィルハーモニー管弦楽団

船橋フィルハーモニー管弦楽団

船橋ジュニアオーケストラ

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

習志野シティフィルハーモニック

四街道交響楽団

成田フィルハーモニー管弦楽団

袖ヶ浦交響楽団

茂原交響楽団

浦安シティオーケストラ

鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団

市原市楽友協会オーケストラ

津田沼ユニアーサル交響楽団

かずさジュニアオーケストラ

ちばマスターズオーケストラ



## ゲスト



かとう あやの  
ヴァイオリン 加藤綺乃

千葉県佐倉市出身、在住。

4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学、同大学大学院修士課程を卒業。大学院在学中にアメリカ、フィラデルフィアへ留学しヴァイオリンをエドワード・シュミーダー氏に師事。在学中は清水高師氏に師事。第21回日本クラシック音楽コンクール大学の部にて最高位受賞。

現在はフリーの奏者として藝大フィルハーモニア管弦楽団や東京交響楽団などにエキストラ参加するなどの演奏活動をしながら、県内のアマチュアオーケストラや中学・高等学校オーケストラ部の弦楽器コーチを務めるとともに文京楽器講師として教育活動にも力を注いでいる。また佐倉市上座にある臨済宗妙心寺派宝樹院(実家)で、毎年「さざんかの会演奏会」を開催している



もりした やすえ  
ハープ 森下恭江

千葉県佐倉市在住。

9歳よりハープを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科ハープ専攻卒業。米国ではLAフィルハーモニー・オーケストラ首席ハーピストLou Ann Neil、大学では木村茉莉、篠崎史子 各氏に師事。藝大フィルハーモニア管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等のエキストラ出演、ソロ活動の他、Avexメジャー・デビューしたAN-J名知玲美の呼び掛けにより2013年に四人グループ「ハープジャズ」を結成。都内中心のライブ活動の他、佐倉市内の幼稚園を始め、学校関連の親子イベント、企業パーティーなどでも好評を博す。

2018年、クラウドファンディングによりオリジナルCD「EL REGALO」をリリース。2019年、月刊誌ジャズジャパン100号記念企画によるクラウドファンディングにて2ndアルバム「EL REGALO 2」をリリース。

### ●「千葉交響楽団協会 室内楽フェスティバル」次回開催のお知らせ

#### 第9回 千葉交響楽団協会 室内楽フェスティバル

2022年(令和4年)10月30日(日)

会場:市原市民会館小ホール(千葉県市原市惣社1-1-1)